



— 環境活動レポート —



地球と仲良し!!

— (Vol.10) —



○方谷庵 岡山県指定文化財[昭和40年](入場無料)
明治3年(1870)山田方谷66歳の時、新見市大佐に移り母の実家の墓地がある金剛寺境内に、外祖母の霊を弔うために茶屋風の小庵繼志祠堂を建立し方谷庵と命名した。毎月何回かお参りをして瞑想にふけていたそうです。

○所在地 岡山県新見市大佐小南「金剛寺」境内。
方谷庵の側には「山田方谷記念館」(入館料：200円)もあります。

○行き方 中国自動車道「新見IC」より約30分

【平成25年度】 平成25年 5月1日 ~
平成26年 4月30日迄

株式会社北陽商会





各種自動車販売・民間車検工場・損害保険代理店

株式会社 北陽商会

住所： 岡山県新見市新見327-1
TEL： (0867)72-2173
FAX： (0867)72-2270
Mail： hokuyo@mx3.tiki.ne.jp
URL： <http://ecohokuyo.web.fc2.com>

《 沿 革 》

- | | | |
|-------|-----|--------------------------------------|
| 昭和27年 | 7月 | 自動車部品販売店 北陽商会を開業 |
| 37年 | 9月 | 自動車販売整備業 株式会社北陽商会を設立【認証番号：30-185】 |
| 平成 3年 | 1月 | 指定自動車整備事業者認定【指定番号：岡619-12345678】 |
| 16年 | 3月 | 「エコ整備(エンジン洗浄・オイル潤滑系統洗浄他)」を導入 |
| 18年 | 5月 | 「エコアクション21」認証取得【認証・登録番号：0000744】 |
| | 8月 | 「岡山エコ事業所(一般事業所)」認定取得【認定番号：10028号】 |
| 19年 | 10月 | 「エコアクション21ハンドブック(2007年版)」に掲載される |
| 20年 | 4月 | 「エコ整備(エンジン洗浄)」がグリーン購入法(特定調達品目)に規定される |
| | 11月 | 「環境保全対策優良事業所(岡山運輸支局長表彰)」1回目受賞 |
| | 12月 | 「ISOマネジメント(日刊工業新聞社月刊誌12月号)」に掲載される |
| 21年 | 5月 | 「資源環境対策(環境コミュニケーションズ月刊誌5月号)」に掲載される |
| | 11月 | 「環境保全対策優良事業所(岡山運輸支局長表彰)」2回目受賞 |
| 22年 | 3月 | 「第13回環境コミュニケーション大賞(環境レポート部門)」優秀賞受賞 |
| | 4月 | 「チャレンジ25」に登録 |
| | 10月 | 「岡山県地球温暖化防止活動(岡山県備中県民局長表彰)」受賞 |
| | 11月 | 「環境保全対策優良事業所(岡山運輸支局長表彰)」3回目受賞 |
| 23年 | 3月 | 「環境ビジネス(日本ビジネス月刊誌3月号)」に掲載される |
| | 8月 | 「環境保全対策優良事業所(中国運輸局長表彰)」受賞 |
| 24年 | 3月 | 「岡山エコ事業所(ゼロエミッション)」認定取得【認定番号：30056号】 |
| 25年 | 3月 | 2012年度「環境力大賞(環境文明21 & 日刊工業新聞社)」受賞 |
| | 5月 | AIRジャパン「グリーンショップ大賞」受賞 |
| 26年 | 3月 | 「第17回環境コミュニケーション大賞(環境レポート部門)」大賞受賞 |

— 目 次 —

株式会社北陽商会 沿革	1
1. はじめに (郷土の偉人に学ぶ“丸川松隠”と“山田方谷”)	2
2. 組織の概要	3
3. 環境方針	4
4. 環境活動の実施体制及び役務と取組の経過	5
5. 環境負荷の現状と考察	7
6. 環境目標と今年度の取組	8
7. 今年度の実績と取組の評価	10
8. 環境関連法規の違反、訴訟の有無	14
9. 代表者による全体評価と見直し結果	15
10. 次年度の取組内容	17
11. 資料	18
12. おわりに (環境管理委員会)	22

1. はじめに

郷土の偉人に学ぶ “丸川松隠” と “山田方谷”

代表取締役 山崎 保彦

丸川松隠は、新見藩五代藩主関長 誠せきながのぶから藩校「思誠館」に招かれた同時期、TVドラマでお馴染みの、老中松平定信まつだいらさだのぶより直々に、後の東京大学へ連なる江戸の「昌平黌しょうへいこう(江戸幕府)」にも招かれていました。その時松隠は『私の家は代々新見藩に仕えており、故あって父は仕籍を脱しましたが殿様のご恩は忘れていません。敢えて他へ仕官する気持ちはありません。』と、「思誠館」に督学とくがく(校長)として仕官し、山田方谷など多くの人材を育てた人物です。

右の写真は、新見市役所の中庭に設置されている、丸川松隠と山田方谷のブロンズ像（新見ライオンズクラブ寄贈）で、幼い方谷が松隠から教えを受けている姿が表されています。



丸川松隠と山田方谷のブロンズ像

若い頃の松隠は、父が留守中に発狂した母を13歳の時から18年間にわたり看病し続けた孝行者としても知られていますし、「思誠館」で学規を定め、藩政改革をした朱子学者としても有名です。また、方谷は5歳の時から10年間松隠に学び、その後、備中松山藩の財政の立て直しを行い、晩年が「閑谷学校しずたにがっこう(岡山藩)」で、最晩年は、新見市大佐で子弟教育にあたり多くの人材を育てています。JR伯備線「方谷駅」は、その方谷から取った珍しい「人名駅」です。

新見には松隠の顕彰けんしょうひ碑があります。「思誠館」の跡地にある思誠小学校の丘の上にひっそりと立っています。この碑文は、後の大阪大学へ連なる「懐徳堂かいとくどう」で、松隠と共に中井竹山なかいちくざんに学び、後に幕府の「昌平黌」の督学とくがくになった佐藤一斎さとういつさいが書いた文で、松隠の一代記が記されています。『今の世の中は、学問が文字の解釈や意味を知ることだけにこだわり、その本当の目的を忘れてる。真の学者は、数えるほどしかいない。その中でも丸川一朗君(松隠)はわずかにその一人である。』と大変誉めてあります。



丸川松隠顕彰碑

「新見御殿町まち歩きガイド[<http://machiaruki.gotenmachi.com>]」を始めるにあたり、新見の歴史を学びました。そして、広く世間に語られず、歴史の中に眠っている多くの偉人が新見から出ていることを知りました。その偉人たちの功績や人となりを知り、何をすべきか、何を残していくべきかを考え、さらに飛躍できればと願っています。

新見の歴史と偉人の功績を語りながら「新見御殿町」を一緒に散策してみませんか？



丸川松隠

問題(1)この100年で、日本の平均気温は何℃上がったでしょうか？

- ① 0.6℃ ② 1℃ ③ 3℃

2. 組織の概要

[1] 事業者名

株式会社北陽商会
代表取締役 山崎 保彦

[2] 所在地

岡山県新見市新見327-1



[3] 環境管理責任者及び担当者連絡先

【環境管理責任者】小出 武（経理課長）
【事務部門責任者】竹崎 秀男（営業課長）
【工場部門責任者】小林 晃（整備課長）
【整備部門責任者】逸見 則夫（工場長）

連絡先	
TEL:	(0867) 72-2173
FAX:	(0867) 72-2270
Mail:	hokuyo@mx3.tiki.ne.jp

[4] 事業の概要

【各種自動車販売】

軽四から大型、特殊車まで、各メーカーの新車はもちろん、未使用車や中古車は全国108ヶ所、毎日3万台以上の査定書付オークション出品車両から購入できます。

【損害保険代理店(損保ジャパン・東京海上日動)】

自動車保険はもちろん、火災・ゴルフ・旅行などの損害保険代理店です。ご契約から事故相談(事故対応力専門資格認定)、示談書作成、保険金請求まで相談できる代理店です。

【自動車整備】

車検・点検・一般修理・事故修理など、自動車整備のことなら最新の技術を持って素早く確かな真心サービスで行う中国運輸局指定(民間車検)工場です。

【環境保全エコ整備】

燃費の向上を図り省エネや環境保全に効果のある整備で、長く乗りたい人や調子の悪い車にお勧めです。平成20年にエコ整備は「グリーン購入法(特定調達品目)」に規定されました。



[5] 事業の規模

項目・単位	年度				平成25年度
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
社員数 人	15	14	13	14	14
総面積 m ²	2,535	2,535	2,535	2,535	2,599

※社員数は代表者を含む年度末の人数です。

[6] 認証・登録の範囲

【事業活動全般】 自動車整備・販売、損害保険代理店業務

問題(1)の正解は……② 1℃

最近の100年間に世界では約0.6℃、東京では約3℃、北極ではなんと5℃も上昇しており、日本の年平均気温は、約1℃上昇しています。

3. 環境方針

環 境 方 針

【 企 業 理 念 】

私たちは、安全・安心かつ快適な自動車社会構築のために「自動車販売・整備」にとどまらず、あらゆる企業活動において人々に信頼され、愛され、自らも誇れる企業を目指し地域の発展に貢献します。

【 環 境 理 念 】

かけがえのない地球を未来に引き継ぐことが、人類共通の重要課題であることを認識し、全社員一丸となって企業活動のあらゆる面で地球環境保全に配慮します。

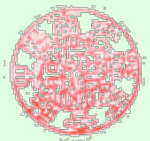
【 行 動 方 針 】

環境保全推進体制を構築し、下記の行動方針を定め積極的な取り組みを推進します。

- (1) 投入エネルギー削減で二酸化炭素排出量削減を推進します。
- (2) 廃棄物削減と分別処理を推進します。
- (3) 水使用量削減を推進します。
- (4) 化学物質の適切な使用と管理をします。
- (5) 環境に優しい自動車販売とエコ整備&エコドライブ普及を推進します。
- (6) 自動車リサイクル部品や環境配慮商品による省資源化を推進します。
- (7) 環境関連法規制等を遵守します。

平成17年 5月 1日 制定
平成24年 5月 1日 改定

株式会社 北陽商会
代表取締役 山崎保彦



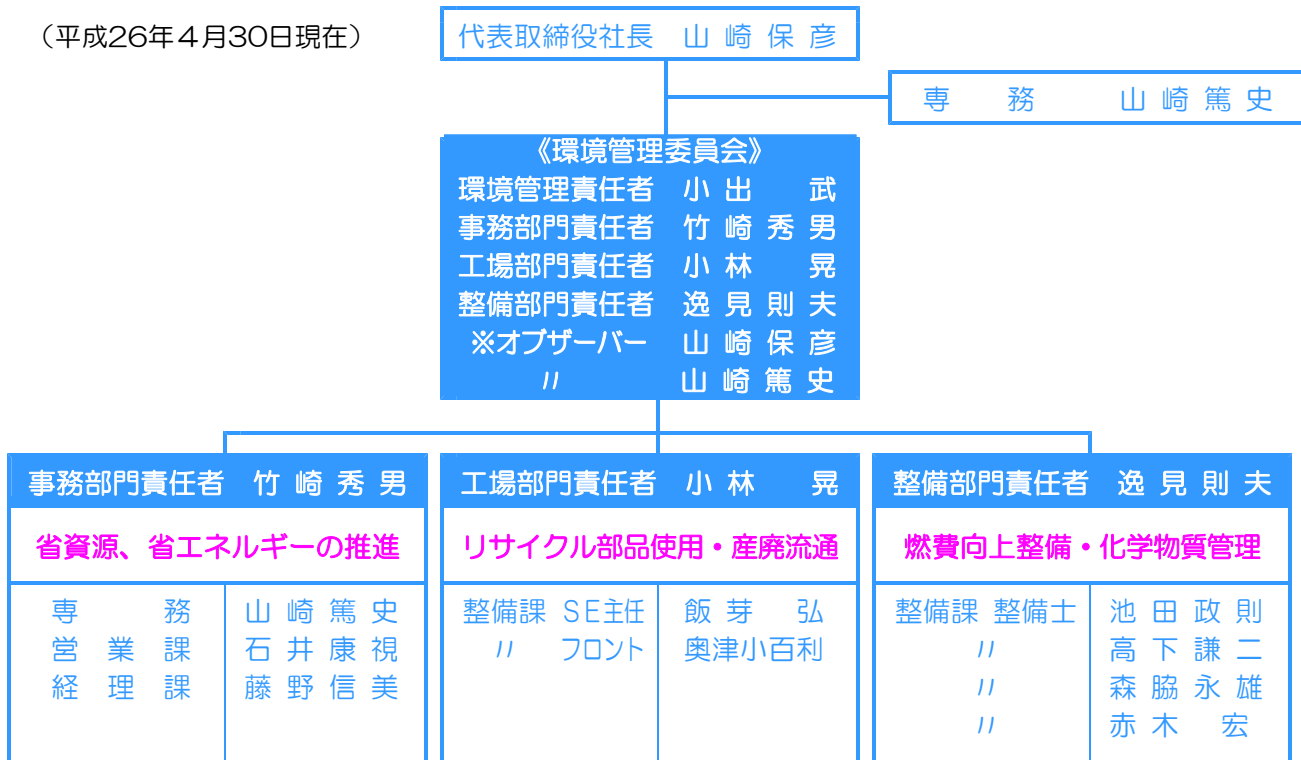
問題(2) 人類活動の増大のうち、地球温暖化への影響が最も大きいものはどれでしょうか？

- ① 人工衛星などの宇宙開発 ② 原子力の利用拡大 ③ 二酸化炭素の排出

4. 環境活動の実施体制及び役務と取組の経過

[1] 実施体制

(平成26年4月30日現在)

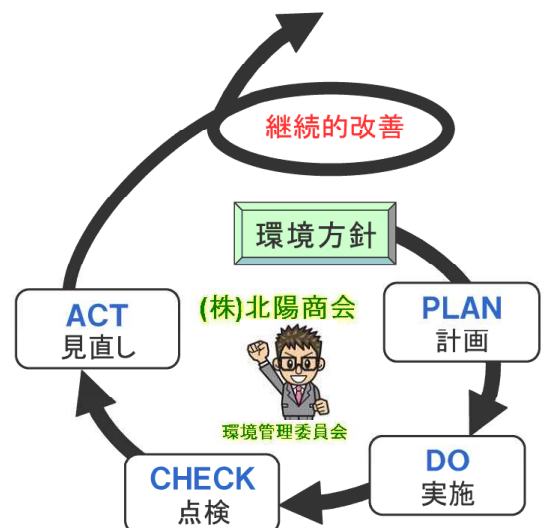


[2] 代表取締役：山崎保彦

- (1) 環境方針(企業理念・環境理念・行動方針)の制定
- (2) 環境管理責任者及び環境管理委員任命
- (3) 環境経営システムの実施及び資源準備
- (4) 環境経営マニュアルの作成・変更
- (5) 環境管理委員会へのオブザーバー参加
- (6) 環境経営システムの評価
- (7) 環境経営システムの見直し
- (8) 環境活動の評価と指摘・是正確認
- (9) 社内情報の外部公開可否の決定
- (10) 自動車リサイクルシステムの情報管理

[3] 環境管理責任者：小出 武

- (1) 環境管理委員会の総括
- (2) 環境管理委員会の事務局運営
- (3) 環境経営マニュアルの徹底
- (4) 環境活動レポートの編集責任者
- (5) 代表者に対して環境活動の実績報告
- (6) 環境経営システム確立と維持するための処置
- (7) 環境経営システム確立のための教育、訓練など実施
- (8) 環境関連法規のチェック(環境関連契約書等の管理)
- (9) 岡山エコ事業所判断基準適合状況報告書の作成
- (10) 産業廃棄物管理表交付状況報告書(岡山県)の作成



問題(2)の正解は……③二酸化炭素の排出

地球温暖化の最大の原因は、二酸化炭素をはじめとする「温室効果ガス」が増加し、地球全体を包んでしまった結果、熱が宇宙に逃げにくくなり地球の気温が高くなってきています。

[4] 環境管理委員会



【環境管理委員会の位置づけ】

(1) 環境管理委員会の構成と役割

- 環境管理 責任者：小出 武(経理課長)
※環境管理委員会総括及び事務局運営
- 事務部門 責任者：竹崎秀男(営業課長)
※省資源、省エネルギーの推進
- 工場部門 責任者：小林 晃(整備課長)
※リサイクル部品使用及び産廃流通
- 整備部門 責任者：逸見則夫(工場長)
※燃費向上整備及び化学物質の管理

(2) 環境管理委員会の内容

毎月第2金曜日12時～14時開催とし、環境管理責任者を議長にエコアクション21の要求事項を満たす「環境経営システム」の構築、実施、管理及び進捗状況の調整と推進方法の提案、決議を行う。なお、オブザーバー(代表者・専務)は意見を述べることができ代表者は取組内容の評価、見直しを行うと共に、各事項をその場で決定できる。

[5] 主な取組の経過(平成25年度)

【緑文字①～⑦の項目は資料P18～21を参照】

平成25年 5月 13日	平成24年度環境活動報告 & 平成25年度環境活動計画発表
15日	「クールビズ」の開始
27日	岡山県整備振興会総会
30日	①AIRジャパン「グリーンショップ大賞」授賞式へ参加
6月 1日	②お客様駐車場として隣地を取得
7月 8日	③事務所に「省エネエアコン」導入
12日	平成24年度「環境活動レポート」発行
18日	「まち歩きボランティアガイド」で御殿町を案内
8月 1日	④工場内環境対策(断熱性外壁&窓取り付け工事)
19日	平成25年度「第一回環境活動報告会」の開催
9月16日	「カントリー大作戦(市街地清掃作業)」へ参加
23日	「教育講演会(川島隆太東北大教授)」へ参加
26日	「交通安全テント村」 & 「マイカー点検教室」の開催
10月26日	第8回「おかやまもったいないフォーラム」へ参加
11月 1日	「ウォームビズ」の開始
14日	「コーチングを中心としたコミュニケーション研修」へ参加
12月 8日	⑤「緊急事態(火災・オイル漏洩)」の訓練
16日	平成25年度「第二回環境活動報告会」の開催
平成26年 1月 4日	平成26年年頭会議「環境活動社員表彰」の開催
12日	⑥「3R・低炭素社会検定」受験(代表者)
16日	環境省「環境情報開示システム」へ登録
25日	「エコアクション21」更新現地審査(審査人：宗村邦嗣)
2月11日	「新見世間遺産」探訪
3月10日	平成25年度「第三回環境活動報告会」の開催
17日	⑦「第17回環境コミュニケーション大賞」授賞式へ参加
4月24日	新見商工会議所「優良従業員表彰(40年=逸見則夫)」

問題(3) 地球温暖化で起きると考えられる現象として正しくないものはどれでしょうか？

① 干ばつや洪水の増加

② 海水面の上昇

③ 大規模地震の発生

5. 環境負荷の現状と考察

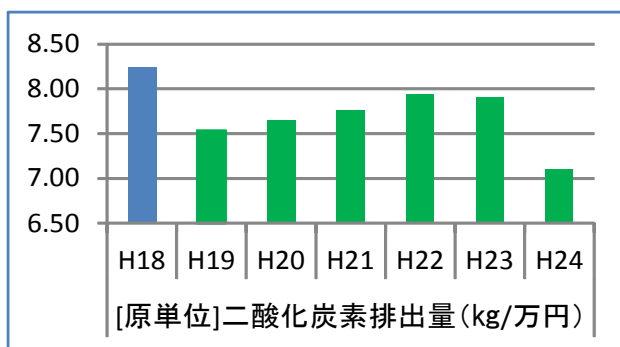
[1] 環境負荷の現状（平成18年度～平成24年度）

「二酸化炭素排出量」、「廃棄物排出量」、「水使用量」を原単位(排出量/整備売上)で、事業活動に関連する「環境保全エコ整備」や自動車整備に伴う「リサイクル部品使用」、平成23年度からは「化学物質使用量」を総量で、エコアクション21認証を取得した平成18年度を基準(100%)に平成24年度までの実績です。なお、「二酸化炭素排出量」の購入電力排出係数は0.496kg-CO₂/kwh(中国電力)を使用しています。

環境負荷項目 / 年度		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
CO ₂ 排出量	原単位(kg/万円)	8,244	7,535	7,648	7,760	7,934	7,899	7,104
	18年度基準比較	100%	91.4%	92.8%	94.1%	96.2%	95.8%	86.2%
廃棄物排出量	原単位(kg/万円)	1,264	1,611	818	760	697	691	615
	18年度基準比較	100%	126.4%	64.7%	60.1%	55.1%	54.7%	48.7%
水使用量	原単位(m ³ /万円)	0.136	0.080	0.064	0.055	0.050	0.075	0.061
	18年度基準比較	100%	58.8%	47.1%	40.4%	36.8%	55.1%	44.9%

エコ整備台数	総量(台数)	45	58	68	45	58	49	51
	18年度基準比較	100%	129%	151%	100%	129%	109%	113%
自動車リサイクル部品	総量(売上円)	259	262	271	175	258	210	305
	18年度基準比較	100%	101%	105%	68%	100%	81%	118%
化学物質使用量	総量(L/年)	自動車の下回り塗装等に使用					399	451
	23年度より把握							

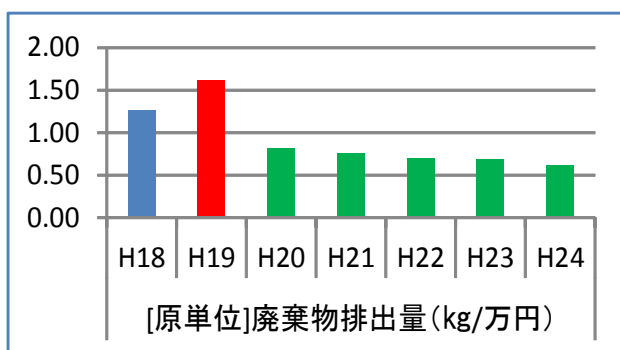
[2] 環境負荷の考察 【棒グラフの■基準年度・■目標達成年度・■は未達年度】



二酸化炭素排出量

■ 原単位 [kg/整備売上万円]

19年度には8.6%削減できましたが、社用車を増車したこともあり、少しずつですが増加しました。24年度に取組強化を図り、18年度より13.8%削減できました。



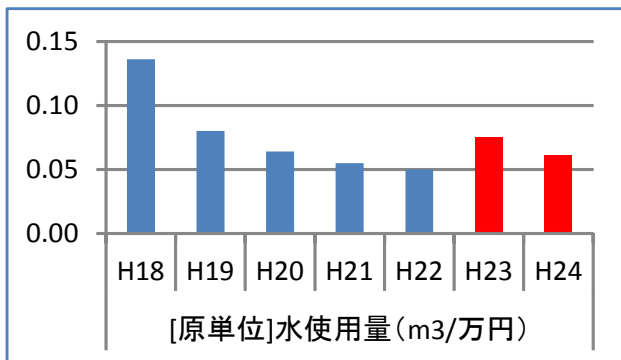
廃棄物排出量

■ 原単位 [kg/整備売上万円]

19年度は年1回の汚泥処理を2回行ったためで、その後「廃バッテリー」「廃油」「廃クーラント」を販売することで減少し、24年度は18年度の約半分になりました。

問題(3)の回答は……③大規模地震の発生

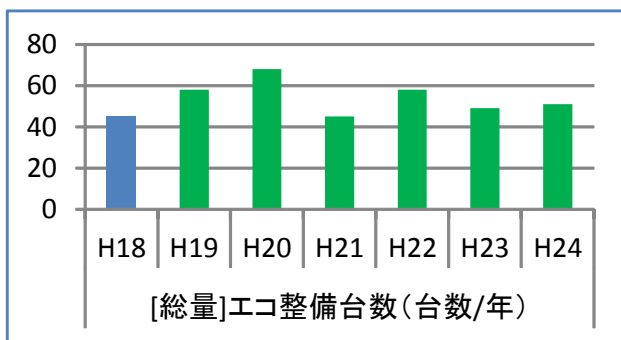
地球温暖化の影響にはさまざまなものがあり、南極などの氷が溶けることで引き起こされる海水面の上昇、干ばつや豪雨などの異常気象の発生などがあります。



水 使 用 量

■ 原単位 [m³/整備1万円]

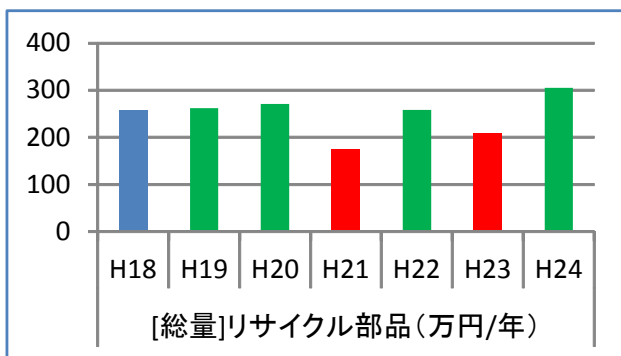
使用量の80%が洗車なので19年度から洗車方法を改善し削減できました。23年度から洗車に地下水利用を始めましたが濁り除去で垂れ流すことがあり増加しました。



エ コ 整 備

■ 総量 [台]

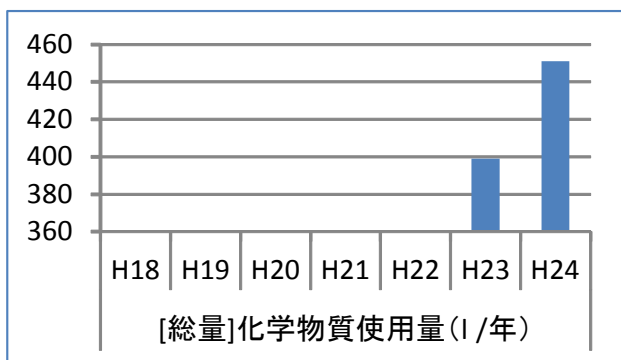
16年度に導入し、20年度はガソリンの高騰と「グリーン購入調達品目」に規定されたことで増加しました。16年度からの累計台数は469台になりました。



自動車リサイクル部品

■ 総量 [社(万円)]

18年度から把握し、19~20年度は伸びましたが、21年度は保証問題で減少しました。22年度からは保証付リサイクル部品の購入を始め、昨年度は大きく伸びました。



化学物質使用量

■ 総量 [ℓ]

23年度から、車の下回り塗装に使用する塗料やシンナー等を危険物貯蔵庫で管理し、PRTR法対象物質の量を把握すると共に、適正な管理使用をしています。

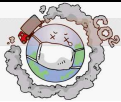





6. 環境目標と今年度の取組

[1] 環境目標 (平成22年度~平成26年度)

「二酸化炭素排出量」、「廃棄物排出量」、「水使用量」は、平成21年度(基準年)の総量より、平成22年度から毎年1%を削減し5年で5%の削減、「化学物質」は平成23年度から把握し適正な管理使用をします。また「エコ整備」は毎年50台、「自動車リサイクル部品」は平成21年度から毎年2%の増加を目標にします。

問題(4) 岡山県では何cm海面が上昇すると、現存する砂浜が消失するでしょう？

- ① 30cm ② 65cm ③ 1,000cm

環境負荷項目 / 年度目標		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	二酸化炭素排出量(kg/年)	64,932	64,282	63,633	62,984	62,334	61,685
	21年度基準(%)	100%	99%	98%	97%	96%	95%
	廃棄物排出量 (t/年)	637	631	624	618	612	605
	21年度基準(%)	100%	99%	98%	97%	96%	95%
	水使用量 (m ³ /年)	461	456	452	447	443	438
	21年度基準(%)	100%	99%	98%	97%	96%	95%
	エコ整備 (台/年)	45	50	50	50	50	50
	21年度基準(台)	100%	111%	111%	111%	111%	111%
	自動車リサイクル部品使用 (万円/年)	175	179	182	186	189	193
	21年度基準(%)	100%	102%	104%	106%	108%	110%
	化学物質使用量 (ℓ/年)	平成23年度より把握		399	459	適正な管理と使用	

[2] 今年度の取組 【取組ができていない項目に☑を入れてみましょう!】

(1) 総エネルギー投入量の主な削減活動

- ① 事務所及び工場の照明を休憩時間には消灯しました。
- ② 使用しないパソコンの電源を休憩時間には切りました。
- ③ トイレや給湯室の照明を使用後消灯しました。
- ④ 待機電力を消費する家電製品及び使用しない事務機器は主電源を切りました。
- ⑤ 暖房温度(20℃)・冷房温度(28℃)の設定をしました。
- ⑥ 社有車に“エコドライブ宣言車”ステッカーを貼付し実践しました。
- ⑦ 社用車の利用は必要最小限に止め合理的な使用をしました。
- ⑧ 社用車の燃費を把握し低減に努めました。
- ⑨ 二酸化炭素排出量を把握し低減に努めました。
- ⑩ 社内から排出する紙類は再利用し不要になった紙はリサイクルしました。
- ⑪ 社内から排出する廃棄物は分別してリサイクルしました。
- ⑫ 工場や洗車場の水は使用の都度止水しました。
- ⑬ トイレや給湯室の水は節水に努めました。

(2) 環境に配慮した活動

- ⑭ お客さまに販売する自動車や用品は省燃費商品を勧めました。
- ⑮ お客さまにリユース部品やリビルト部品などの利用を勧めました。
- ⑯ お客さまにエコ整備と法定点検の励行を情宣し普及に努めました。
- ⑰ お客さまにエコドライブを積極的に推奨しました。
- ⑱ お客さまにも廃棄物の分別回収を呼びかけました。
- ⑲ 機械設備の入れ替えや購入の際は省エネルギーのものを選びました。
- ⑳ 家電製品、機械器具、備品、用品類はエコマーク製品を選びました。
- ㉑ 事務用品などの購入はグリーン製品を選びました。
- ㉒ 資料等は両面印刷などで用紙の使用量削減に努めました。
- ㉓ 使い捨て製品の購入を控えリユース可能な製品を選びました。

問題(4)の回答は……② 65cm

地球の平均気温が1.5~3.5度上昇すると、氷河の融解や海水の膨張などで、海面は約20~110cm高くなり、岡山県では65cmの海面上昇で砂浜が完全に消失すると、予測されています。

(3) その他の環境関連活動

- ②4 化学物質の適正な保管と使用をしました。
- ②5 産業廃棄物の適正な保管と処理をしました。
- ②6 交換後の部品などの適正な保管と処理をしました。
- ②7 使用済み自動車の適正な保管と処理をしました。
- ②8 整備工場周辺の環境保全対策を推進しました。
- ②9 秋の交通安全週間でテント村とマイカー点検教室を開催しました。
- ③0 環境関連法規等を遵守しました。

【いくつか☑が入りましたか？今後の取組の参考にしましょう！】

7. 今年度の実績と取組の評価

[1] 今年度の実績

(1) 総エネルギー投入量の主な削減活動

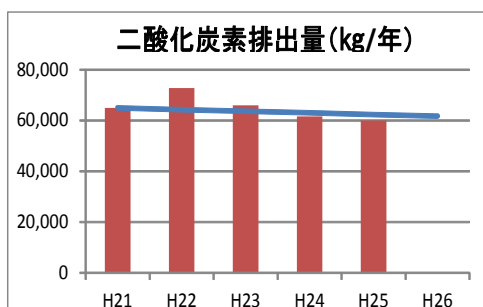
P8~9 《6. 環境目標と今年度の取組》の[1] 環境目標に沿い実績を報告します。

環境負荷項目 / 年 度		(基準) 平成21年度	平成25年度目標	平成25年度実績
	二酸化炭素排出量 (kg/年)	64,932	62,334 kg	59,975 kg
	21年度基準/達成率(%)	100%	平成21年度より4%削減	(達成率) 104%
	廃棄物排出量 (t/年)	6.37	6.12 t	4.85 t
	21年度基準/達成率(%)	100%	平成21年度より4%削減	(達成率) 126%
	水使用量 (m ³ /年)	461	443 m ³	523 m ³
	21年度基準/達成率(%)	100%	平成21年度より4%削減	(達成率) 85%

※二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・水使用量の総量

P7 《5. 環境負荷の現状と考察》では、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量は、それぞれ原単位(排出量/整備売上)で計算していますので数値は違います。

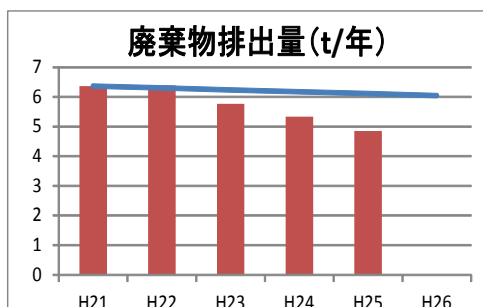
※下記グラフの「■折れ線は22年度からの5カ年目標」で「■棒は実績」です。



二酸化炭素排出量

■ 総量 [kg/年]

目標達成！昨年は冬場にエアコンとストーブを併用しましたが、省エネエアコンを導入した効果で目標より4%削減ができました。



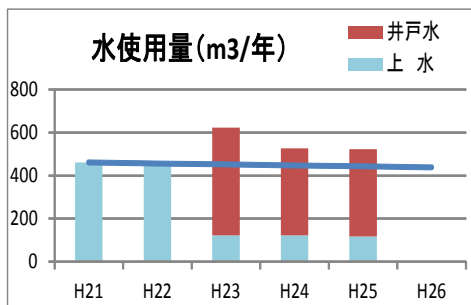
廃棄物排出量

■ 総量 [t/年]

目標は達成できましたが、毎年1回行っている汚泥処理を、今年度は少量なので行わなかったためです。廃タイヤは増加しました。

問題(5) もしも海面が1.5m上昇すると、日本の国土のどれくらいの面積が水没するでしょうか？

- ① 東京都くらい(約2,200km²) ② 富山県くらい(約4,200km²) ③ 岡山県くらい(約7,100km²)



水 使 用 量

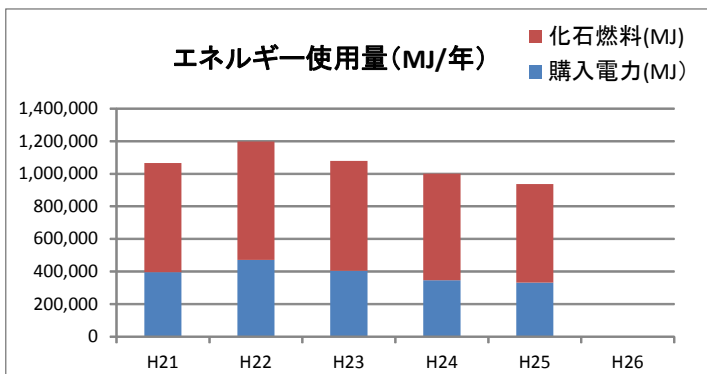
■ 総量 [m³/年]

目標達成は出来ませんでしたが、昨年度より在庫車両が4%増加したにもかかわらず、昨年度より1%削減ができました。

エネルギー使用量

■ 総量 [MJ/年]

化石燃料64.5%、電力35.5%の割合で、昨年度と比較して6%削減。内訳として、化石燃料が8%、電力が4%削減。平成23年度から3年連続で削減が進んでいます。



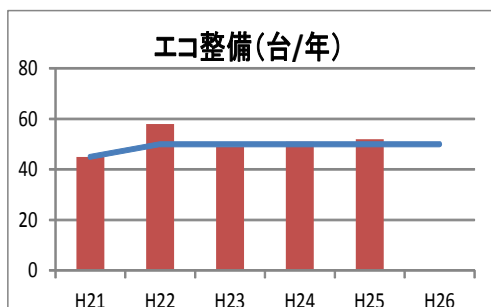
(2) 環境に配慮した活動

環境負荷項目 / 年 度		(基準) 平成21年度	平成25年度目標	平成25年度実績
	エコ整備台数 (台数)	45台	50台	52台
	21年度基準(%) / 達成率	100%	平成21年度より5台増	(達成率) 104%
	自動車リサイクル部品使用 (売上円)	175万円	189万円	346万円
	21年度基準(%) / 達成率	100%	平成21年度より8%増	(達成率) 183%
	グリーン購入 (購入円)	100%	「グリーン購入方針」に基づく購入	59万円
	化学物質使用量 (ℓ/年)	平成23年度 399ℓ	適正な管理と使用	528 ℓ

※「グリーン購入」の実績は、コピー用紙や文具類など損保ジャパンのグリーン購入システムより購入した金額で、再生PET樹脂作業服や作業手袋などは地元で100%で購入していますので記載はしてません。

※「化学物質使用量」は、平成23年度より把握し適正に管理し使用しています。

※下記グラフの「■折れ線は21年度策定した5カ年目標」で「■棒は実績」です。



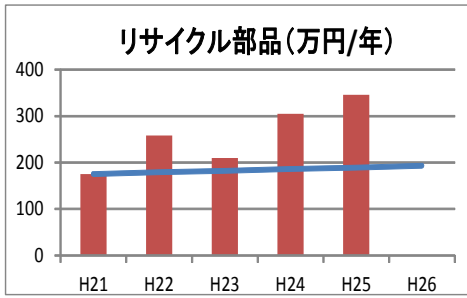
エ コ 整 備

■ 総量 [台]

「環境大臣表彰」受賞お礼で、地元新聞で募集した「エコ整備プレゼント」のおかげもあり、目標が達成できました。

問題(5)の回答は.....②富山県ぐらい

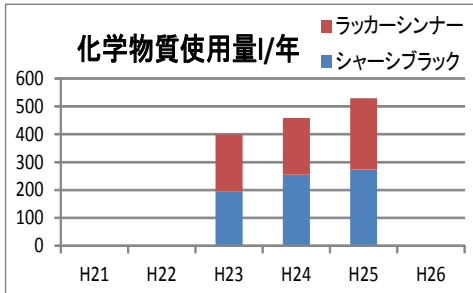
海面1.5m上昇すると、水没する国土面積はおおよそ4,200km²いわれています。約980万人(東京都の人口)に影響がでます。



自動車リサイクル部品

■ 総量 [売上(万円)]

リサイクル&リユース部品を積極的に活用し、自動車修理を安く提供していることが広まり、今年度は大きく伸び達成できました。



化学物質使用量

■ 総量 [l]

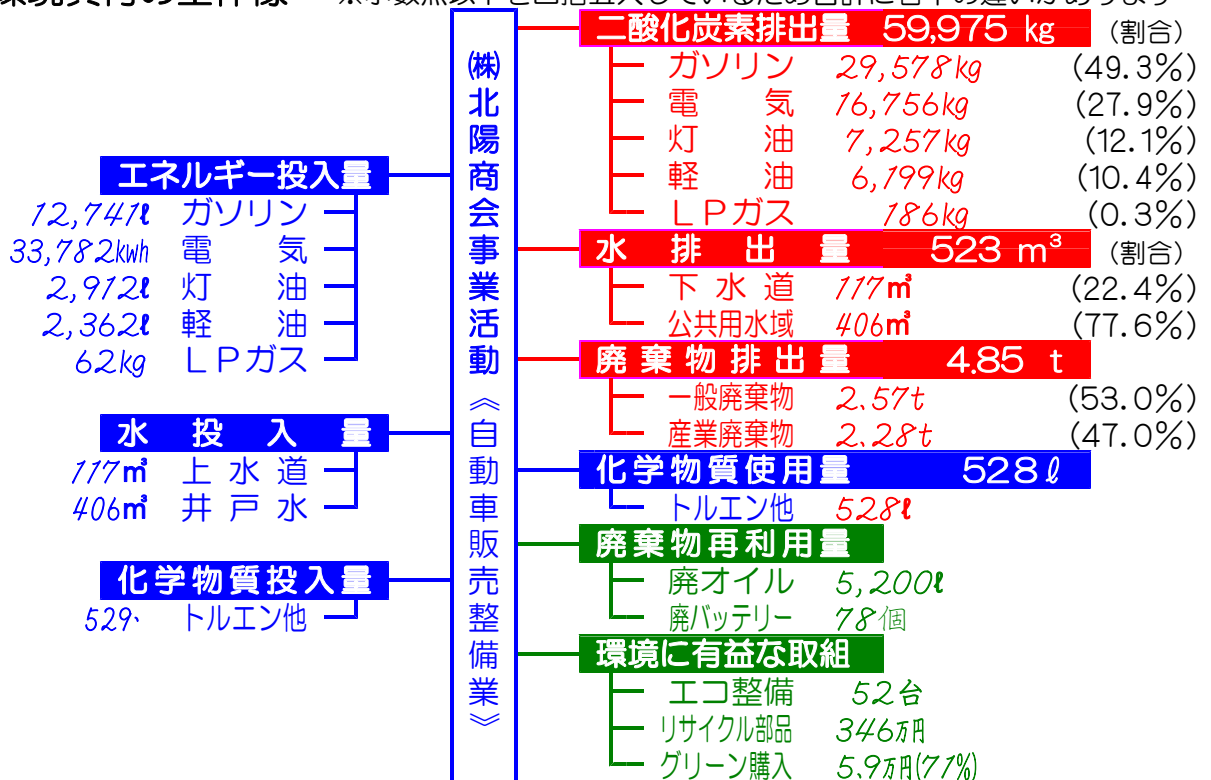
在庫台数の増加に伴い使用量が増加していますが、少量危険物庫を造り、適正な在庫管理で適正な使用をしています。

(3) その他の環境関連活動

項目	平成25年度目標	活動状況
エコドライブの提案と推進	啓蒙活動推進	エコ安全ドライブの冊子&シール配布
産業廃棄物マニフェスト	管理状況把握	マニフェストの管理徹底
緊急事態対応訓練	緊急事態対応訓練	火災・オイル漏洩訓練の開催
社員教育と社会貢献活動	社員教育 社会貢献活動	市街地清掃活動(カントリー大作戦)へ参加 交通安全テント村・マイカー点検教室開催

[2] 環境負荷の全体像

※小数点以下を四捨五入しているため合計に若干の違いがあります



問題(6) 地球温暖化の原因といわれる、「温室効果ガス」でないのはどれでしょうか？

- ① 酸素 ② メタン ③ 二酸化炭素

[3] ステークホルダーとのコミュニケーション

(1) ウェブ・コミュニケーションの充実

ホームページの充実・メール会員へ情報提供・環境省「環境情報システム」へ参加他

(2) 取引先とのコミュニケーションの連携

「環境活動レポート」の配付・「エコ整備」プレゼント企画・「マイカー点検教室」開催他

(3) 地域社会とのコミュニケーションの拡充

地域貢献活動(市街地清掃活動)への参加・「交通安全テント村」の開催・「新見御殿町まち歩きボランティアガイド」へ参加・「新見世間遺産探訪」の企画他

[4] 今年度の取組の評価

(1) 総エネルギー投入量の主な削減活動

平成21年度を基準に策定した4半期毎の目標に向け取り組み、内訳としては、電気が昨年度より4%、灯油が14%削減、社用車のガソリンと軽油は昨年度とほぼ同じで、LPGは増加しましたが、全体では目標より4%削減できました。また、産業廃棄物の廃タイヤは売上が伸び増加しましたが、汚泥が少なかったため処理していないので21%削減できました。水使用量は、時折、井戸水に不純物が混入することがあるので、垂れ流しすることがあり目標達成には至りませんでした。

項 目		4半期毎の累計目標と実績と評価				
二酸化炭素排出量の削減 21年度基準 本年度4%削減	CO ²	目 標	15,584kg	31,167kg	46,751kg	62,334kg
		実 績	14,043kg	28,497kg	42,519kg	59,975kg
		評 価	○	○	○	○
廃棄物排出量の削減 21年度基準 本年度4%削減	廃 棄 物	目 標	1.53t	3.06t	4.59	6.12t
		実 績	0.95t	1.95t	3.64t	4.85t
		評 価	○	○	○	○
水使用量の削減 21年度基準 本年度4%削減	水使用量	目 標	111m ³	222m ³	333m ³	443m ³
		実 績	138m ³	290m ³	428m ³	523m ³
		評 価	×	×	×	×

(2) 環境に配慮した活動

エコ整備の目標は50台で3/4半期まで苦戦をしていましたが、環境大臣賞受賞の新聞報道や受賞記念プレゼント企画で、実績52台と達成できました。また、リサイクル部品は、達成率183%と大きく増加しました。グリーン購入は調達方針を定め、作業服や作業手袋、トイレトーパーはグリーン商品を購入しており、事務用品等は損保ジャパンの「グリーン購入システム」より購入し、実績はグリーン商品購入率を表示しています。化学物質は在庫台数が増え増加していますが「小規模危険物庫」を造り適正な管理と使用ができました。

項 目		4半期毎の目標と実績と評価				
エコ整備の推進 21年度基準 【本年度50台実施】	整備台数	目 標	12台	25台	37台	50台
		実 績	10台	21台	35台	52台
		評 価	×	×	×	○
リサイクル部品使用推進 21年度基準 【本年度8%増加】	部品売上	目 標	47万円	95万円	142万円	189万円
		実 績	64万円	193万円	285万円	346万円
		評 価	○	○	○	○
グリーン購入 調達方針に基づく購入 【グリーン購入ネットワーク(GPN)】	調達方針	目 標	調達方針の徹底 (GPNからの購入実績)			
		実 績	43%	56%	66%	71%
		評 価	○	○	○	○
化学物質使用 23年度より把握 【適正な管理と保管】	化学物質	目 標	適正な管理と使用 (使用量の確認)			
		実 績	171l	331l	416l	528l
		評 価	○	○	○	○

問題(6)の正解は……①酸素

二酸化炭素は、木や油、化石燃料(石炭や石油など)を燃やしたときに出る気体で、メタンは湿地や池、水田で枯れた植物が分解する際に発生します。どちらも地球温暖化の原因となる温室効果ガスです。

8. 環境関連法規の違反、訴訟の有無

[1] 適用となる主な環境関連法規

適用となる主な適用法規と該当する活動

規制法令	法令の要求事項	規制対象設備&項目
環境基本法	環境への負荷の低減	事業活動全般
廃棄物処理法	産業廃棄物処理委託 マニフェストの保管 保管場所	産業廃棄物処理委託契約書 5年間保管 掲示板(60cm×60cm)・表示事項
循環型社会形成推進基本法	廃棄物排出抑制	廃棄物排出抑制の処置
資源有効利用促進法	資源有効利用	リサイクル部品の使用推進
自動車リサイクル法	引取業者登録	5年毎の更新
家電リサイクル法	家電製品適正引渡し	指定引取り所への引き渡し
グリーン購入法	環境配慮商品の購入	環境配慮商品選択(法適用外)
水質汚濁防止法	貯油施設	油水分離槽の定期的点検清掃
騒音規制法	特定施設設置届出	空気圧縮機届出
振動規制法	特定施設設置届出	空気圧縮機届出
化学物質排出把握管理法	化学物質使用取扱管理	自主規制(法適用外)
消防法	消防計画等の規定	少量危険物貯蔵届出他

※環境関連法の改正情報把握について

事業活動に関わりのある環境関連法を遵守するため、環境情報提供システム(EICネット)に登録し、四半期毎に法的要求事項等の確認と見直しをしています。



[2] 遵守状況評価結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 遵守状況評価結果について

環境関連法規等の取りまとめ表及び遵守状況チェック表で問題の無いことを確認しました。

(2) 違反、訴訟等について

関係機関等からの指摘及び地域住民からの苦情も訴訟等も無く、関係当局よりの違反等の指摘もエコアクション21の認証取得以来ありません。

問題(7) 日本で排出される二酸化炭素の量は、世界で何番目の多いでしょうか？(2009年時点)

- ① 3番目 ② 5番目 ③ 7番目

9. 代表者による全体評価と見直し結果

[1] 全体評価 《 □=達成・□=未達成・□=前年並み 》



二酸化炭素排出量

昨年度は、冬期にエアコンと灯油ストーブとの併用で効果ができました。本年度は、「省エネエアコン」へ取り替え、電気・灯油の使用量が減り、削減できました。



エコ整備

「エコ整備」を始めて早10年が経過し、累計521台になりました。約半数の人がリピーターです。燃料が高騰していますので「エコ整備」の効果を情報提供しましょう。



産廃マニフェスト

「汚泥」と「廃タイヤ」のマニフェスト管理と共に、廃棄物等の運搬及び処理を託業している業者との契約書及び許可証の有効期限を四半期毎に確認しましょう。



廃棄物排出量

毎年1回「汚泥処理」をしています。本年度は在庫台数が増えたにもかかわらず、汚泥が少なく処理していないので、昨年度と比較して91%と大幅に削減できました。



リサイクル部品

リユース及びリビルト部品の需要は高まっています。整備や修理の見積もり時にリサイクル部品を使用することは、エコノミーでエコロジーになることを説明しましょう。



コミュニケーション

取引先や地域社会とのコミュニケーションをしっかりと取ることで信頼を育むことができます。当社の、環境負荷や環境保全活動等の情報を提供し協力をお願いしましょう。



水使用量

雨が多く降った後に洗車に使用している井戸水に不純物が混じります。そのまま使用をすると車に悪影響を与えるかも知れませんので、こまめにチェックしましょう。



グリーン購入

「グリーン購入調達方針」に基づき購入ができています。また、損保ジャパンの「グリーン購入システム」より購入する環境対応商品の割合も増えています。



緊急事態訓練

火災及びオイル漏洩訓練実施マニュアルに添って、全社員戸惑うことなく実施できました。少量危険物庫のそばに物を置かないなど「整理整頓」を心がけましょう。



化学物質使用量

PRTR法対象の化学物質は平成23年度より把握しています。今年度は在庫台数が増え使用量が増加したが、余分な在庫をせず、適正な管理と使用を心がけましょう。



エコドライブ

「エコドライブ」や「ペーサーメーカー実践車」ステッカーを貼ったことで、燃費向上が計れました。お客様にも「エコ安全ドライブ」の冊子を配付し広めていきましょう。



社会貢献活動

秋の交通安全週間に「交通安全テント村」で安全運転を呼びかけ「マイカー一点検教室」で車の点検方法の教室をしました。市街地清掃活動は毎年の恒例活動になりました。

[2] 見直し結果



(1) 環境目標の達成状況について

平成25年度の環境目標達成状況は、水使用量以外は多少のばらつきはあるものの達成できたと判断します。

(2) 環境活動計画の実施及び運用結果について

実施及び運用結果も概ね良好です。9～10ページの[2]今年度の取組を見直し、さらなる運用の徹底を社員全員で図りましょう。

(3) 環境関連法規等の遵守状況について

平成25年5月に環境関連法規等の改正を調べ、違反等がないことが確認できています。今後も四半期毎にチェックし環境関連法規等の遵守をしましょう。

(4) 外部からの環境に関する苦情や要望等について

関係機関等からの指摘及び地域住民からの苦情も訴訟等もありませんでしたが、万一の事態に備え「苦情処理手順書」に添って対応処理が図れるよう体制強化を図りましょう。

(5) その他

平成23年度より「化学物質使用量」を把握しています。昨年度、万一貯蔵量が増加した場合に備え「少量危険物貯蔵取扱所」を造り標識を取り付けました。これからも余分な在庫をせず、適正な管理と使用をしましょう。



以上の見直しの結果、「環境方針」、「環境目標」、「環境活動計画」、「環境経営マニュアル」の変更はしませんが、今年度の成果や問題点を踏まえたうえで、次年度の取組内容を創意工夫し改善を付け加えていきましょう。



環境方針	変更の必要性の有無（ 有 ・ 無 ） ・変更の必要はありません。
環境目標	変更の必要性の有無（ 有 ・ 無 ） ・変更の必要はありません。
環境活動計画	変更の必要性の有無（ 有 ・ 無 ） ・変更の必要はありません。
環境経営マニュアル	変更の必要性の有無（ 有 ・ 無 ） ・変更の必要はありません。

[3] 次年度の取組へ向けて

(1) 環境マネジメントシステムの継続的改善について

「継続」とは、昨年度と同じことを漫然と繰り返すのではなく、昨年度よりは本年度、本年度よりは翌年度と、少しずつで良いから必ず改良や改善をしながら推進することです。そうした「創意工夫する心」が、二酸化炭素・廃棄物・水使用量の削減につながり、スピードを加速させてくれます。「継続は力なり、さらに継続は宝なり」です。「創意工夫する心」で次年度も取り組みましょう。



(2) 岡山エコ事業所（ゼロエミッション・一般事業場）認定継続について

平成23年度に、廃棄物の排出抑制と循環的な利用に積極的に取り組んでいる事業所（ゼロエミッション＝県下52事業所）として、また、エコ製品をはじめとする再生品の使用促進に積極的に取り組んでいる事業所（一般事業所＝県下42事業所）としての認定を受けましたので、今後も認定に恥じないよう循環型社会の形成のための取り組みを推進しましょう。

問題(8) 次のうち、燃やしたときに出る二酸化炭素が一番多いのはどれでしょうか？

- ① 天然ガス ② 石油 ③ 石炭

10. 次年度の取組内容

負荷項目／今年度実績		次年度目標／前年比	取組内容	担当者	
環境負荷を低減する取組	二酸化炭素排出量	電気 16,756 kg	16,588 kg / 99%	①未使用時の消灯管理 ②室内冷暖房の適正温度管理 ③グリーンカーテンの実施	竹崎
		灯油 7,258 kg	7,185 kg / 99%	①不必要・不経済な使用禁止 ②ジェットヒーターの点検管理 ③自動車下回り乾燥時間の短縮	逸見
		LPガス 184 kg	182 kg / 99%	①不必要・不経済な使用禁止 ②ガスコンロ・湯沸かし器の点検 ③ガス使用量の適正管理	小出
		ガソリン 29,579 kg	29,283 kg / 99%	①社有車の効率的な使用 ②社有車の点検とエコ整備 ③社有車のエコドライブ実践	小林 逸見
		軽油 6,198 kg	6,136 kg / 99%	④効率的な納車引取の徹底 ⑤燃費効率の良い車の使用 ⑥代車使用状況の確認	
	合計	59,975 kg	59,374 kg / 99%	電気・ガソリン・灯油の大幅削減	全社員
	廃棄物排出量	一般廃棄物 257 t	254 t / 99%	①廃棄物と資源ゴミの分別 ②不用紙の裏面使用 ③コピー用紙使用量の削減	逸見 竹崎 小出
		産業廃棄物 228 t	328 t / 144%	①産業廃棄物の販売管理 ②産業廃棄物の分別徹底 ③産業廃棄物マニフェストの管理	小林
	合計	4,85 t	5,82 t / 120%	廃棄物の分別徹底	全社員
	水用量	水道水 117 m³	116 m³ / 99%	①水漏れの定期的点検 ②「節水」表示を各蛇口に貼付 ③流水をせずボールに溜め使用	小出
井戸水 406 m³		402 m³ / 99%	①少量洗車方法の研究 ②ポンプの定期点検管理 ③洗車場に貯水タンクの設置	逸見	
合計		523 m³	518 m³ / 99%	垂れ流さない少量洗車方法の徹底	全社員
環境に有益な取組	化学物質使用量	528 l	適正な管理と使用	①化学物質の適正な管理と使用 ②化学物質転換の検討 ③敷地外への流出防止	逸見
	エコ整備の推進	52台	53台 / 102%	①エコ整備の研究と推進 ②エコ整備の分かりやすい解説 ③エコ整備の広報	逸見
	リサイクル部品	346万	349万 / 101%	①リサイクルパーツ調達推進 ②中古パーツの調達推進 ③整備依頼者への啓蒙	小林
	グリーン購入		調達方針の徹底	グリーン製品購入意識の高揚	竹崎
	エコドライブの提案と推進		エコドライブソールの活用	エコ安全ドライブの資料提供	
地域社会との協調	環境コミュニケーション		環境レポート配付他	①環境レポート作成 ②環境関連苦情処理	委員会
	環境活動社員教育		環境目標の徹底他	①地球環境保全の学習 ②環境活動の提案と活動推進	委員会
	緊急事態対応訓練		訓練計画と実施	①緊急事態訓練の実施 ②緊急事態用備品の確認	委員会
	地域への貢献活動		環境保全啓発活動	①環境関連セミナーへ参加 ②マイカー点検教室の開催	委員会

※ P8の《6. 環境目標と今年度の取組 [1] 環境目標》とは別に、今年度実績を基に次年度目標を設定していますので目標数値の違う項目があります。また、廃棄物は昨年汚泥処理をしていないので目標が増加しています。

問題(8)の回答は……③石炭

これらの化石燃料のうち、同じ熱量を得るために燃料として燃やしたときに出る二酸化炭素の量が多い順に、石炭、石油、天然ガスとなっています。

11. 資料

①AIR「グリーンショップ大賞」を受賞

- 日 時：平成25年 5 月30日
- 場 所：損保ジャパン本社ビル（東京）

AIR「グリーンショップ大賞」とは、損保ジャパンの優良自動車整備事業者代理店全国組織「AIRジャパン」が、環境保全活動を継続的に推進している優秀会員を表彰する制度です。



【表彰対象】

- ①国土交通省運輸局長表彰「環境に優しい自動車整備事業場」を受賞した会員
- ②「エコアクション21」か「ISO14001」の認証を取得している会員

【審査基準】

- ①エコドライブへの取り組みと成果
- ②チャレンジ25への取り組みと成果
- ③グリーン購入の取り組みと成果
- ④その他

※表彰式で、損保ジャパン取締役社長櫻田謙悟氏と撮影。なお、「AIRジャパン」は、2012年グリーン購入ネットワークが主催した「第14回グリーン購入大賞」を受賞しています。



②お客様駐車場として隣地を取得し整備

- 日 時：平成25年 6 月 1 日～22日
- 場 所：弊社北側（空き家）を駐車場に

《before》



《after》



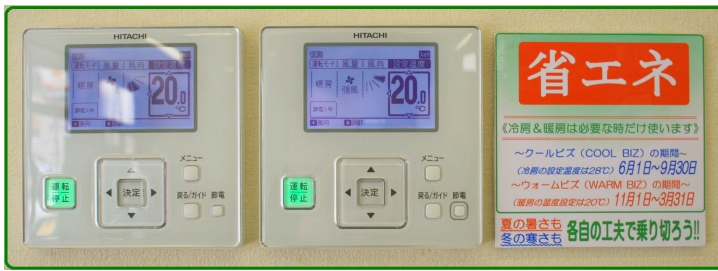
※来社されるお客様の利便性が図れ、国道からの景観もよくなりました。

問題(9) 一人の人を1km運ぶのに一番多く二酸化炭素を出してしまう乗り物はどれでしょうか？

- ① 自動車
- ② 飛行機
- ③ 電車

③事務所を「省エネエアコン」に取り替え

- 日 時：平成25年 7 月 8 日
- 場 所：事務所内



15年前の業務用エアコンを、省エネ性能に優れている製品に取り替えました。エネルギー消費が約40%も削減でき、CO₂排出量は年間約300kgの削減になるそうです。一年間に人間一人が呼吸により排出する量に相当します。

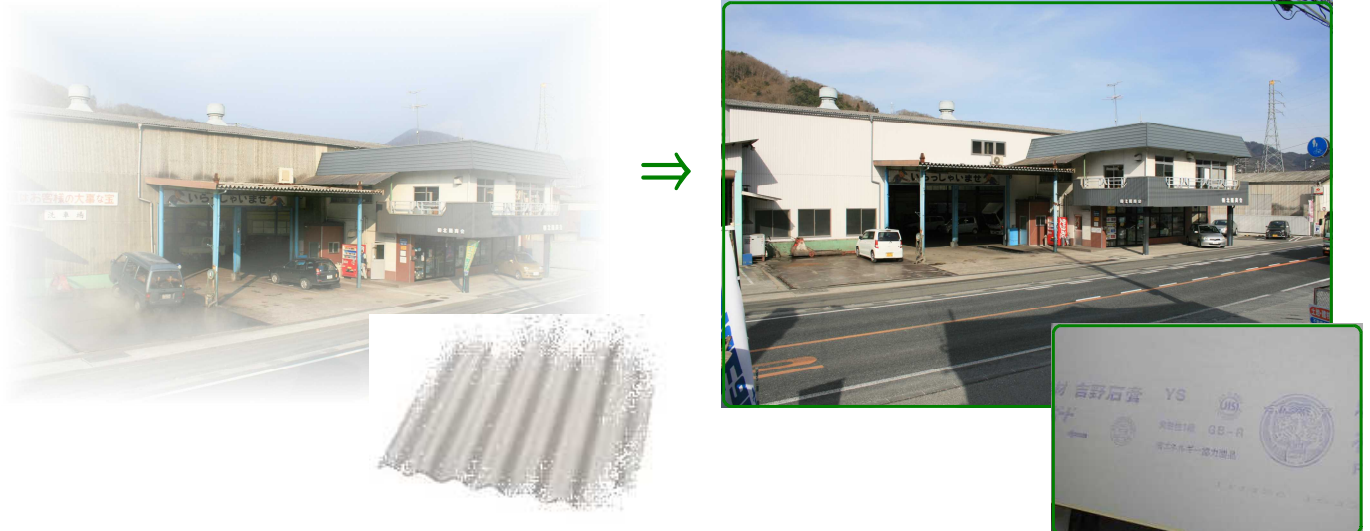
④工場壁を「断熱・耐火・遮音」に替え、明かり取りと排煙窓を設置

- 日 時：平成25年 8 月 1 日（工事開始）
- 場 所：工場壁面

「スレート波板」から「石こうボード」へ変更し、明かり取りの窓を配置しました。

《before》

《after》



「石膏ボード」の特徴

- 【断熱性】 熱抵抗が比較的高く、湿度の自立調整機能もあるため、夏は熱気の侵入を防ぎ、冬は室内の暖かさを保ち、冷暖房の効率を高めてくれます。
- 【耐火性】 芯材の石膏には約20%の結晶水が含まれており、万一の火災時には、この結晶水が無くなるまで温度上昇と延焼を防ぎ初期消火につながります。
- 【遮音性】 2枚重ね張りによって、工場内の騒音を少し和らげることができました。

※残念ながら予算の関係で、壁全面を張り替えることはできませんでした・・・。

問題(9)の正解は……①自動車

人間1人を1km運ぶときに二酸化炭素を出す乗り物のランキングは、多い順に1位自動車(169g)、2位飛行機(102g)、3位バス(49g)、4位電車(18g)の順になっています。

⑤「緊急事態（火災・オイル漏洩）訓練」の実施

《火災訓練》

- 日時：平成25年12月8日
- 場所：自動車洗車場付近
- 責任者：小林 晃

- ① 消火器取扱方法の説明
- ② 廻りの安全確認後発火
- ③ 発見者が『火事だ!』と叫ぶ
- ④ 消火班が消火活動と区画形成
- ⑤ 連絡班が消防署への通報、空調停止
- ⑥ 誘導班が避難通路確保確認
- ⑦ 避難開始、逃げ遅れの確認
- ⑧ 安全確認、完全消火の確認



当社には消防団員も多く、各担当者も慌てることなく「火災発生対応手順」及び「火災訓練実施マニュアル」に沿って、各自役割をこなし無事訓練を終了しました。

《火災訓練結果、手順書の変更はありませんでした。》

《オイル漏洩訓練》

- 責任者：逸見則夫

当社敷地内において、自動車からオイルが漏洩し排水路に流出したと想定し、周りの安全を確認後、対応手順書に沿って訓練を行いました。



- ① オイル吸着材の保管場所確認
- ② 油水分離槽の確認
- ③ オイル吸着材の使用法確認
- ④ 流出オイルを吸い取る
- ⑤ オイル吸着材にて水路を止める

訓練終了後、油水分離槽の定期点検の仕方を確認し、油水分離槽にあるオイルを吸着材にて吸い取る訓練を行い、最後にオイル吸着材の在庫枚数を確認し無事訓練を終了しました。



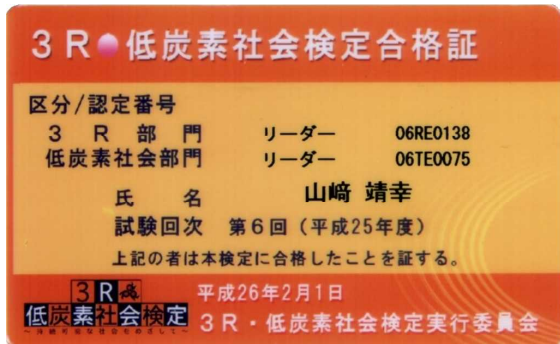
《オイル漏洩訓練結果、手順書の変更はありませんでした。》

問題(10) 自動車のエコドライブで、あてはまらないものはどれでしょうか？

- ① 始動時に暖気運転をする
- ② 整備・点検をきちんとする
- ③ タイヤの空気圧をこまめにチェック

⑥「3R・低炭素社会検定」を受験

- 日 時：平成26年 1 月12日
11:00～13:00 3R部門検定
14:00～16:00 低炭素社会部門検定
- 場 所：岡山国際交流センター



未来の子々孫々まで地球という家で生き活きと生きていくには、これ以上の破壊的な活動は許されないということで生まれたのが「3R (Reduce: 減らす、Reuse: 繰り返し使う、Recycle: 再資源化) ・低炭素社会 (二酸化炭素の排出を抑えた社会) 検定」です。

3R検定・低炭素社会検定を受験したことは、事業活動や日常生活の中で、持続可能な社会や二酸化炭素の削減を考える良い機会になりました。

⑦第17回「環境コミュニケーション大賞(環境大臣賞)」を受賞

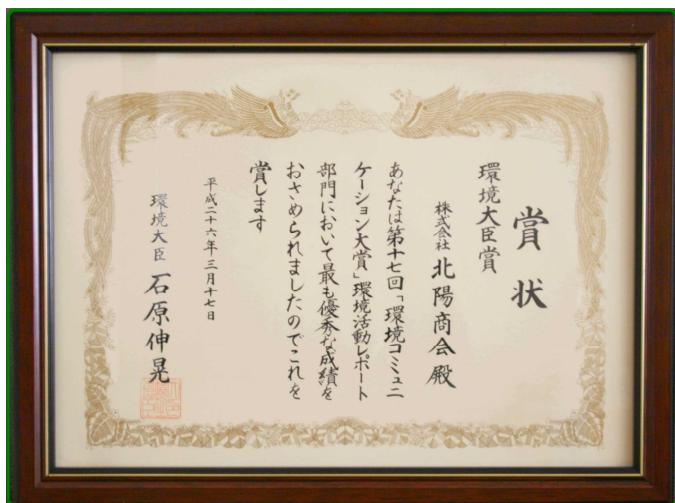
- 日 時：平成26年 3 月17日
- 場 所：品川プリンスホテル

「環境コミュニケーション大賞」は、優れた環境報告書等や環境活動レポート、及びTV環境CMを表彰することにより、事業者等の環境コミュニケーションへの取り組みを促進するとともに、その質の向上を図ることを目的とする表彰制度で、この度、環境レポート部門において大賞(環境大臣賞)を受賞することができました。



【審査員講評】

『2006年にEA21認証・登録された自動車整備会社であるが、直接的な環境負荷削減への取組のみならず、エコ安全ドライブの冊子配布、エコ整備の地元新聞読者へのプレゼント、マイカー点検教室などの啓蒙活動・社会貢献活動にも力を入れている点が評価できる。お客様用としてA5というハンドリングしやすいサイズ設定、グラフ、イラストや色使いなどの工夫により、読みやすく、事業者の取組状況が理解しやすいように構成されて



おり、作成者の「ぜひ手にとって読んでほしい」というメッセージが伝わってくる。代表者による見直しを経て次年度目標を上方修正したり、巻末に、山間部の高齢者の生活を考えたコンバーションEV (電気自動車) 挑戦への意気込みを語ったりするなど、積極的な姿勢が感じられ、コミュニケーション媒体としてのレベルは高い。』

問題(10)の回答は……①始動時に暖機運転をする

自動車を効率よく運行するために、整備・点検やタイヤの空気圧の設定、停車時のエンジンオフの徹底などのきめ細かな対応が重要です。

12. おわりに

山田方谷は“リストラ”の天才？

山田方谷が、備中松山藩五万石の元締役兼吟味役(財務大臣)に任命された当時、松山藩は粉飾決算で破産状態なのを外部に隠し、借金に借金を重ね総額十萬兩。方谷は藩をあげて大儉約令を断行し、債権者を一同に集め粉飾決算を公表。十萬兩の借金を一時棚上げするよう頼み込み再建策を示す。再建策は「鉄」。豊富で良質の砂鉄に恵まれたこの地にタタラ製鉄所をつくり、鋤、鍬などの農具や鉄器を製造。中間マーヅンを取る商人を通さず、自前の輸送船で江戸に運び直売で高収益を確保。

借金を棚上げしてもらっている間に藩の財務体質を正常化させ、新規事業に投資する。まさに、バブル景気の崩壊で悪戦苦闘した企業の再建そのままだ。

まずは、「実態解明」と「情報公開」。年間五萬兩の支出に対し収入は三萬兩、二萬兩の構造赤字、その上に十萬兩の借金の利息は一万三千兩に及ぶ実態を解明、債権者に公開。次に「負債返済猶予の相談」。債権者に実態を説明し再建策を示し借金返済延期を要請。そして「地場産業の振興」。鉄製品、煙草、ゆべし、檀紙等、特産品で地場産業を育成。「販売方策の確立」。米は藩内で貯蔵し全国に直接販売。鋤山を直営し鉄製品を保有船で江戸へ直送し販売。まさに、山田方谷は、備中松山藩五万石を企業立国にした、リストラ(注)の天才。



山田方谷

「儉約令」を「エコノミー」に、「再建策」を「エコロジー」に置き換えると、事業活動にプラスになり「地球と仲良し」になれる。お客様の信頼を得るために次年度も頑張ろう！

(注) リストラ＝事業を見直し生き残りのために立て直しをするという意味

株式会社 北陽商会

発行日 平成26年7月12日

住所 〒718-0011

岡山県新見市新見327-1

連絡先 TEL：(0867) 72-2173

FAX：(0867) 72-2270

E-mail：hokuyo@mx3.tiki.ne.jp

責任者 環境管理委員会

地球環境を守ろう!!



**『地球』と『人』と『車』に優しい
“エコ整備”を推進しています。**